前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人							生地)				
T 100-8377   日鉄鉱業株式会社   所 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号						⊒.					
本票作成 部署名:生産課											
主たる業種											
事業の					、先UN4						
概要											
	番号	工場等の名称					所 在 地				
	1	日鉄鉱業株式会社 井倉鉱業所					岡山県新見市井倉527番地の1				
県内の											
主 な 工場等											
特定事業	** \[	①燃料等	<u></u>	500k@PJ	上 □ ②バス	<ul><li>トラック</li></ul>		-250台以	<i>L</i> ⊢ □ ③	 CO。挽管:	8 000+D/F
の該当要		●工場等			1 所		車両台数(			J021 <del>X 34</del> 0	台)
				-							
温室効果な	ス 基	準年度(平		年度)	(令和	元	)年度排出		票年度( 수		元 年度)
排出量	- TI	. p	8, 927 t CO <sub>2</sub>			8,007 t CO <sub>2</sub> 8,481 t CO <sub>2</sub>				t CO <sub>2</sub>	
		:号 l) 日鉄領	工場等の名称 鉱業株式会社 井倉鉱業所			(令和 元 )年度排出量 8,007 t CO <sub>2</sub>				+ CO-	
			弘未怀八士	711. 开	- 居					8,007	t CO <sub>2</sub>
主な工場											t CO <sub>2</sub>
の排出量											t CO <sub>2</sub>
											t CO <sub>2</sub>
											t CO <sub>2</sub>
	⇒L	画期間:	77/	: H: 07	7 年度		<b>△</b> £n	二左	<b>庄</b> /	, E	箇年度)
削減目標 達成状泡	の		 出量基準	-	. \	~ li減宝		元 年	<b>没</b> (		
	兄	☑ 原単位		( )	7.2	% %		5. 0	% ②達		□未達
	NE 6										口不足
(原単位基	:準					谷	基準年度		当たり排出』 元 )年度		標年度
の削減目標 選択してい	る「石灰石					10. 341 9. 601 9. 825					
場合に記入	.)			t	$t co_2/(f+t) t co_2/(f+t) t co_2/(f+t)$				(千t )		
(該当事業者のみ記入)											
ベンチマー	-ク	対象事業	の名称	,	ベンチマーク	指標	関連	数値(全	和 元	年度)	達成率等
指標の状	況										
【削減状況の自己評価】											
環境マネジメントシステム(IS014001)により使用エネルギーの管理を行っている。											

ľ	邶	淮	休	生旧	Ι,
	1 III	111111	1/45	шп	

【森林保全等吸収源対策への取組】

・省エネ法に基づく省エネルギー推進体制を整備 ・社内にてエネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理者を選任し、省エネル ギーを推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び全後の取組】

【目標削減率達成のために実施	<u> </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	(令和元年度実施分) 1. 切羽運搬道路を適宜見直し、ダンプ燃料使用量削減に努めた。 2. 生産量に合わせて重機稼働時間・台数を調整し、燃料使用量削減に努めた。 3. プラントは適正な負荷で生産を行い、使用電力原単位削減に努めた。 4. 休憩時間中は、事務所照明の消灯を実施した。 (今後実施予定分) 1. 切羽の運搬道路を見直し、省エネ運転に努める。 2. 適正な負荷でプラント生産を行う。 3. 更新時期になった照明機器は、可能な限りLEDに切り替える。 4. 使用電力量が多いタンカル設備の粉砕機の整備を行うことで、破砕効率を回復し、使用電力量を削減する。 5. 過剰に使用している設備の適正負荷を見極めて、運転する。 6. 更新する機器は、可能な限り高効率な機種を選定する。 7. 工業用水、圧縮空気などの漏れについて日常点検を実施する。

県内で の取組	無				
その他	無				
【再生可能エネルギーの導入】					
県内で の取組	無				
その他	無				
【その他特記事項】					